

# JYAN研(Danger News)の紹介

- 阪神大震災で、地震予知の必要性を痛感し、義務感から研究開始
- 電磁的な観測は、ハム1級の技術力を遺憾なく発揮して研究実行
- 1519の報告から約60件の電磁的前兆を、全て実験して確認！
- 殆どの周波数や各種電波を、アマチュア無線機器を利用して観測！
- 電磁的観測方式や専用観測機開発に15年を要したが観測装置完成
- CQ誌2009年4・5月号で、地震予知の研究仲間を募った。
- 2010年2月大分県地震予知アマチュア観測網を発足した。
- 2010年4月からJYAN研究会(地震予知アマチュアネット)を発足し、観測網を全国に拡大。12年間で、新発見5種類の実績あり！
- 短波帯の**広域観測網**と**FM観測網**と**アース観測網**の3種で観測実験中
- 2019-9日本地震学会で、地震予知の理論とメカニズムを世界初発表
- **JYAN研会長 JH6ARA國廣秀光 観測網約50局(メール会員約400名)**

# JYAN研究会経歴

## ◎ JYAN(地震予知アマチュアネット)研究会の地震電磁波研究と活動記録の経歴紹介

- ・1995年1月17日 阪神淡路大震災発生 地震予知の必要性を痛感して電磁波観測による地震予知の研究を始めた。  
この間あらゆる周波数の電波で地震ノイズや地震での変化等を観測し、ハム局の経験などを全て実験して確認した。
  - ・2007年 5月 災害情報学会、日本地震学会などに入会、その後、日本地球惑星科学連合学会入会
  - ・2009年 5月 ハムの月刊誌「CQ」で4月・5月にて地震予知の研究会員を募集、15名で**JYAN研究会発足**
  - ・2009年10月 日本地震学会(京都大学)で地震電磁波の観測方法など、新監視方式などを発表紹介
  - ・2011年10月 日本地震学会(静岡)で地震に関する電磁気などの発生原因と異常観測理論を発表
  - ・2012年 8月 東京ビッグサイトのハムフェアに出展をしました(この年から、毎年展示に参加～連続6回計7回)
  - ・2013年 7月7日 JYAN大分ネット第2回総会で研修会 10月2日 産経新聞夕刊「1面トップ」でJYAN研紹介
  - ・2014年 3月14日 伊予灘で地震発生全面記録 12月25/26日 日本地震予知学会(電通大)で2項発表
  - ・2015年 5月25日～26日 JGUの連合学会大会(幕張)でFM電磁波観測による潮汐同期等の2項を発表
  - ・2016年4月14&16日 熊本地震でM7クラスが2回発生する事を観測で予知できたのはJYAN研のみでした！
  - ・2016年12月5日 日本地震予知学会のニューズレター第3号に2Pで当JYAN研の研究活動が紹介されました。
  - ・2017年3月5日 西日本ハムフェアで熊本の観測状況講演 同年5月26日JGU学会大会で熊本地震発表
  - ・2017年6月8日 産経新聞にJYAN研が大きく紹介されました。8月月刊誌「CQ」に4PでJYAN研活動が紹介
  - ・2017年10月25日 日本地震学会(鹿児島市)で熊本地震での電磁気を観測する地震観測成果を詳しく発表しました。
  - ・2017年12月25日 日本地震予知学会で熊本地震での地震観測状況などを講演したいへん好評でした。
  - ・2018年9月23日 総務省主催異能(イノ)セッションで東京に招待され、プレゼンテーションにて発表しました。
  - ・2019年6月20日 CQ誌7月号の別冊で、地震研究による新しい地震対策が掲載されました。
  - ・2019年9月18日 日本地震学会(京都大学)にて「地震予知の理論とメカニズム」を発表して注目されました。
- 学会等の発表及び講演 日本地震学会6回、JpGU4回&講演24回等々(2017-5JpGU発表済み)
- 記事=CQ7回新聞4回 観測網は全国で50局が(200波)を観測中！東京晴海のハムフェアは6年連続計7回
- 地震予知アマチュアネット(大分県ネット、地震前兆ノイズ研究会、JYAN会員ML等400名超・大分県国東市)
- JYAN研究会&地震予測観測網等々 会 長 JH6ARA 國 廣 秀 光

JYAN研究会(旧前)  
<http://jyan.biz/>

地震予知安全Net  
<http://jk.jyan.biz/>

地震予知研究所  
<http://www.oct-net.ne.jp/jh6ara/>

地震電磁波研究機構  
<http://nx.jyan.biz/>

研究会員は全国に  
ML約400名

観測網50局以上  
<http://ara.jyan.biz/>  
旧講演発表サイト  
もあります。  
<http://pr.jyan.jp/>

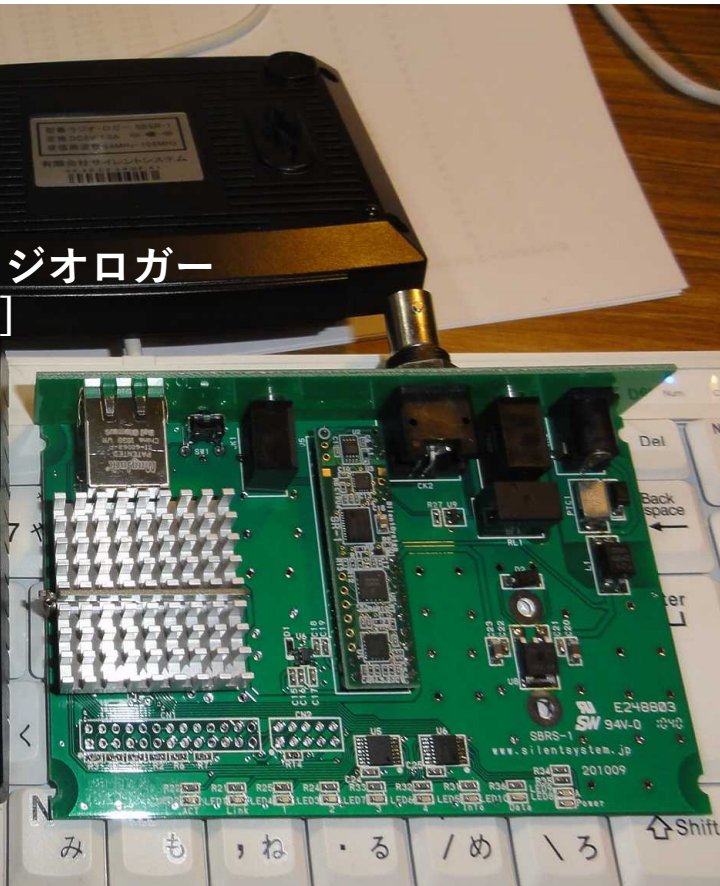
# 地震電磁観測 現用機RL



試作2号機

A N Tと電源、LANケーブルを繋ぐと全国ネットのサーバーに接続し、4 c Hの観測を開始します。  
(事前設定済)

[ラジオロガー V3]



今度は . . . . .

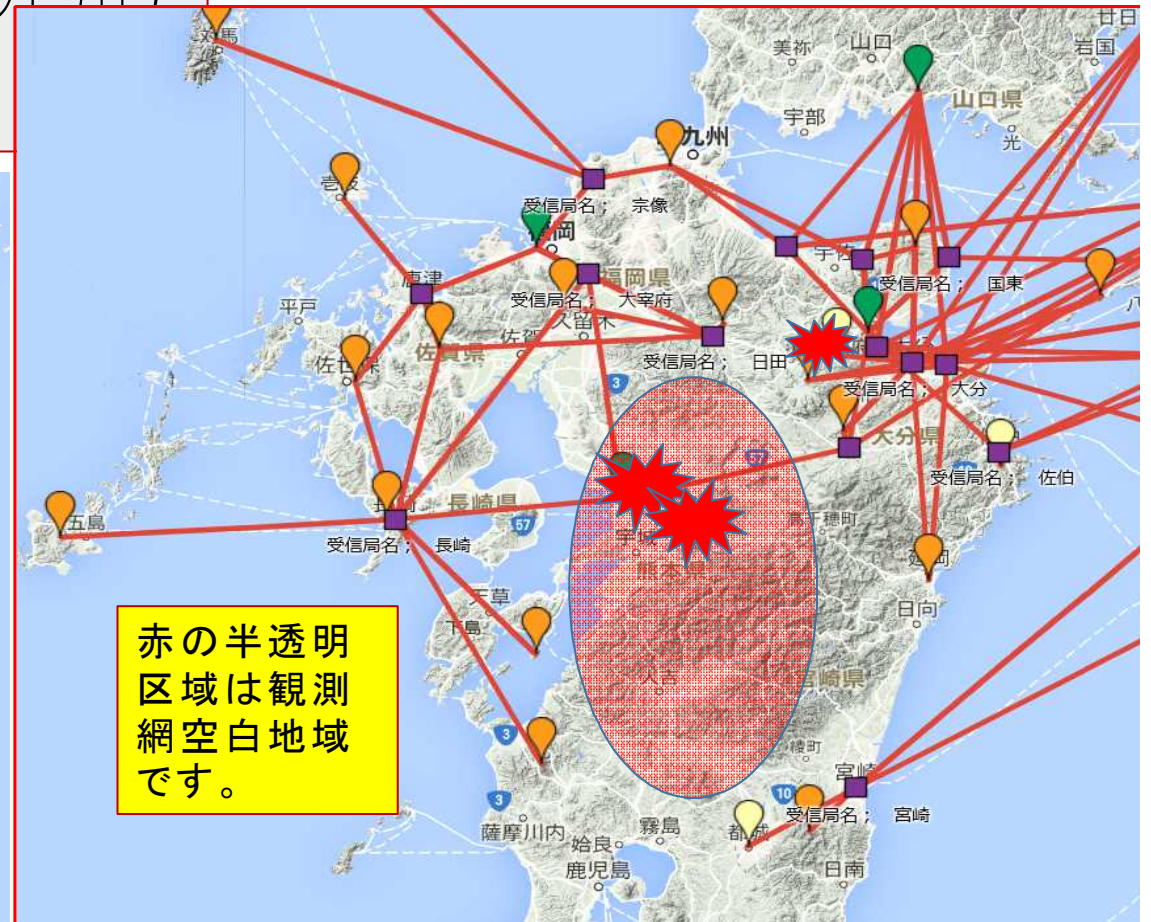
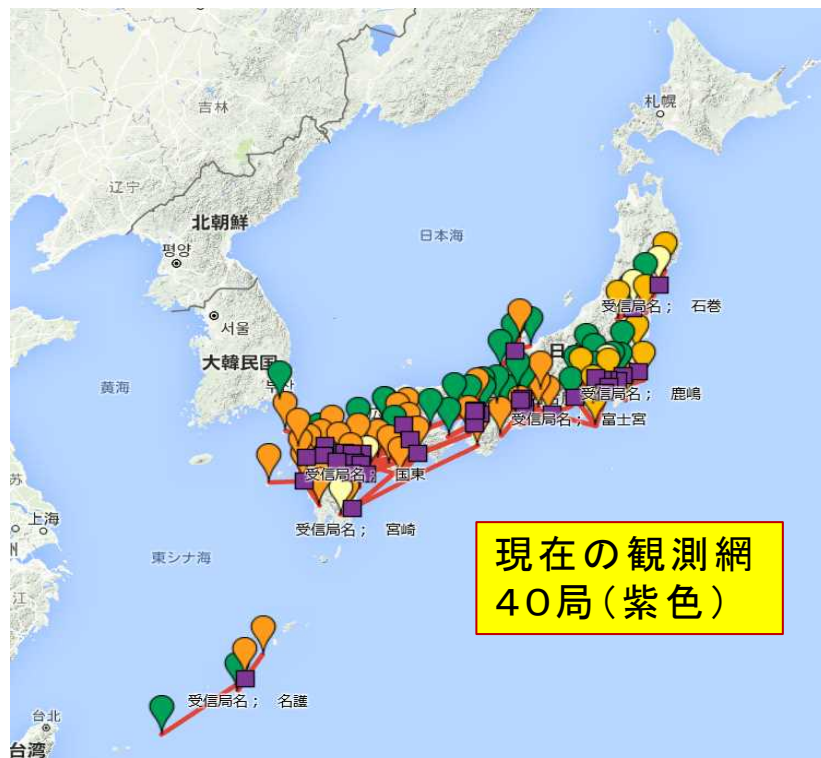
最先端の観測技術  
に新発想のIT技術  
地震観測専用の  
◎電磁気地震計と  
◎観測システムを  
試作中です。

21年の地震研究  
50年の無線技術  
10年の学会研修  
観測の記録10年

これらが融合して  
世界最先端の  
**地震観測システム**  
ができるのです。



# 現観測局配置図(九州) 「熊本県のみ無し」



# 電磁波観測装置と無線機群！

## 輸入の高級スペアナやSDR等＝プロ級



上は、無線の送受信機群  
オールバンド全モードで  
ハンディ機を含めると約30台  
観測系は専用受信機8台  
パソコン装置5台が稼働中！  
貸出し装置は23台他多数有

下は（アース抵抗）  
スペアナ装置  
オシロスコープ  
三種の神器等の  
必要計器は殆どある。  
プロ級の研究室だ。



左の装置群は  
これ迄地震観測に  
利用した装置群！  
しかし  
これからは・・・  
I T (情報技術)  
A I (人工知能)  
A R (拡張現実)  
等のテクノロジー  
を活用した機器の  
開発が、世界を  
リードします。



# JYAN研究会

- ・産経新聞(10.2日)
- ・夕刊「1面トップ」に
- ・掲載されました。
- ・2013年10月2日
- 「Web版」msn
- 産経も見られます。

その他  
各種新聞や雑誌に載りました。

産経新聞

10.2[水]

夕刊

今年4月13日の淡路島地震の直前に観測されたFM電波異常

淡路島地震 1カ月前から電波異常

民間団体学会で発表へ

「遷御」いよいよ今夜 新正殿飾り付け

伊勢神宮(三重県伊勢市)の正殿、新正殿の遷御が、10月2日(水)深夜に完了する。新正殿は、伊勢神宮の正殿を、伊勢市から、三重県伊勢市に移す。新正殿は、伊勢神宮の正殿を、伊勢市から、三重県伊勢市に移す。

「軽」好調の裏に過酷値下げ圧

下請け悲鳴「8%」追い打ち

中小しめ許さぬ 消費税転嫁「Gメン」

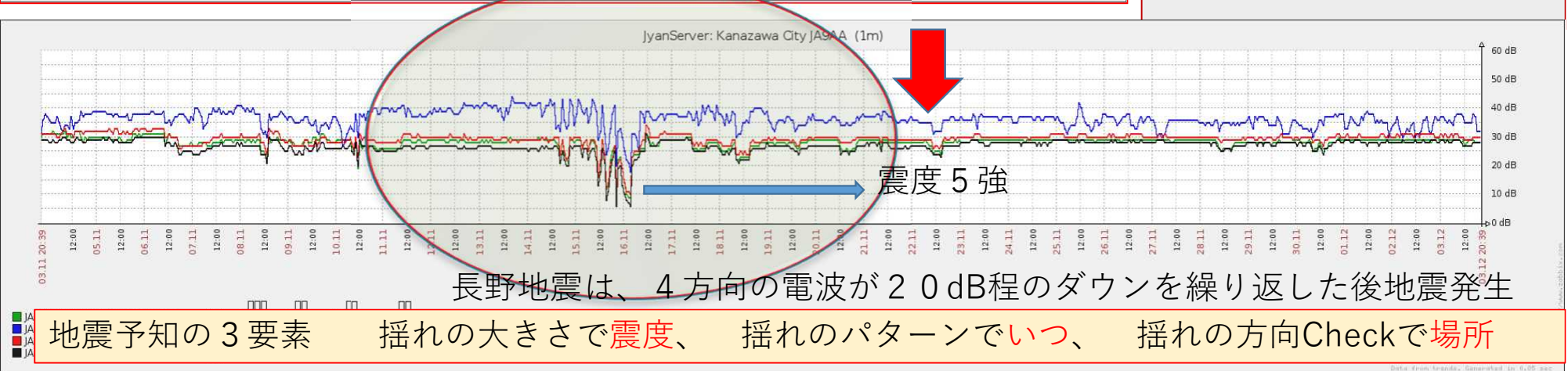
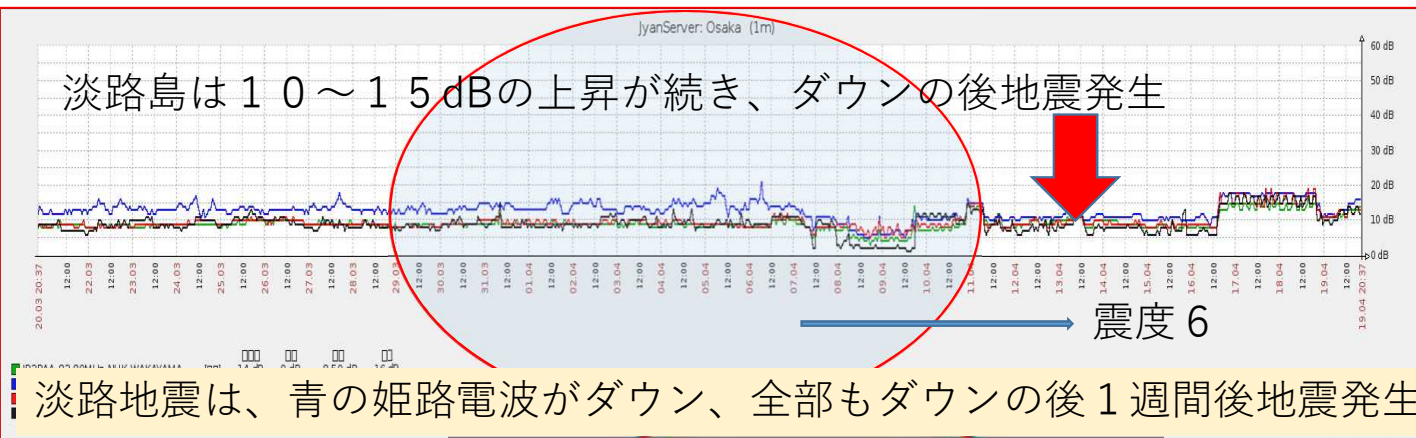
地道な勉強や資料調べ  
地震の勉強  
地球の勉強  
宇宙の勉強  
電磁気の研究  
ノイズの観測  
地球と太陽系の研究  
引力や潮汐の研究  
電磁波伝搬の研究  
気象変化の研究  
電波伝搬の研究  
低周波の観測  
中波の観測  
短波の観測  
F M波の観測  
V/U波の観測  
異常伝播の観測  
各種記録データ纏め  
各種現象の照合  
新現象の発見  
地震と電磁変化  
の発見証明 21年間

# 地震の観測例 (どちらも1週間後に地震発生)

## 淡路島地震 と 長野地震

淡路島は  
レベルアップ 当観測は  
(逆断層型) = これって  
(2013年4月) 凄い

長野地震は  
レベルダウン  
(正断層型) = これも凄い  
(2014年11月)





# 資料

## HAMの「社会貢献」 月刊CQ誌に5回掲載！

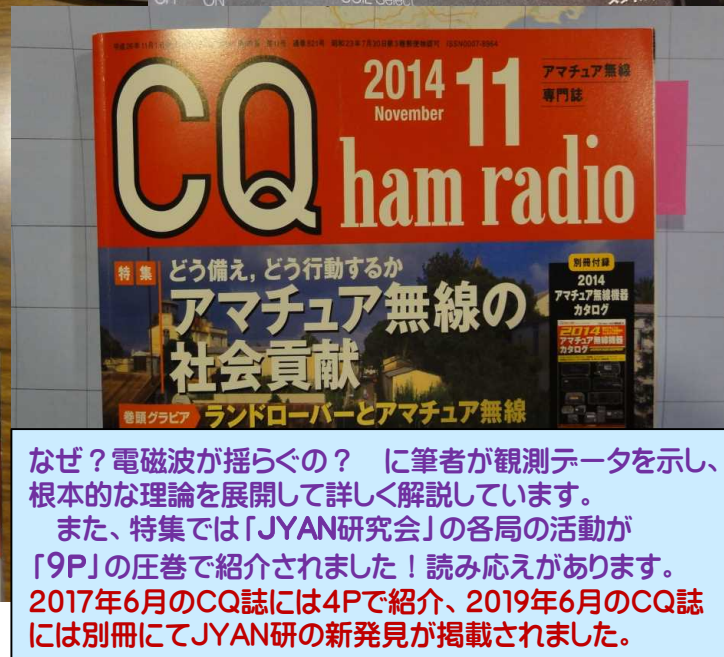
ハムなら地震予測ができる！ 2009年4月&5月号で、  
地震研究と観測技術や理論等を展開しました。！



「どうして地震の前にノイズがでるの？」  
に実例を示して優しく解説しています。4P



電磁気観測による「地震予知」の根本原理が次第に明確になってきました。今月号は、地震を予測し、命の安全確保と予測観測の活用を薦めています。(5Pでの解説)



なぜ？電磁波が揺らぐの？ に筆者が観測データを示し、根本的な理論を展開して詳しく解説しています。  
また、特集では「JYAN研究会」の各局の活動が「9P」の圧巻で紹介されました！読み応えがあります。  
2017年6月のCQ誌には4Pで紹介、2019年6月のCQ誌には別冊にてJYAN研の新発見が掲載されました。

最初の掲載は、  
2009年  
4／5月号です。  
次が2010年の2月号で、多くの何故？や、理論に答えています。  
2013年10月号Amateur無線家の社会貢献という内容で掲載されました。  
2014年11月号は9Pの圧巻です。  
研究仲間も多く出ました。  
2017年6月  
2019年6月にも掲載されました。7回！





# 私は 地震学術 3 学会員です

- 日本地震学会、日本地震予知学会、日本地球惑星科学連合学会の学会員です。
- 地震予知学会は発足時の検討会委員を勤めました。（17名）
- JYAN研究会(地震予知アマチュアネット)と地震予測観測網を主宰しています。
- J Y A N研究会のHP閲覧者が増え、地震予測の配信希望者が増えています。
- 研究会の会員（ML）は約400人で、常時観測しているNet会員は約50局です。



## 上 地震予知研究センターの センター長 長尾年泰教授

- 地震予知関係コメンテーター
- 日本地震予知学会の会長  
(東大出身)

私の研究室を見学して、技術の高さを賞賛、論文共著の申出あり。  
日本地震予知学会早川会長からも論文共著の申し出がありました。  
只今、論文執筆中



①JYAN研究会  
ホームページです。  
研究会概要が、各  
掲載されています。

◎地震予知研究所  
の観測情報が人気で  
した。

②地震予測観測と  
電磁波観測者向け  
のHPで技術情報満  
載です。

③地震予知安全  
Netや「JYAN研」は、  
研究会のHPです。  
元がボランティアなの  
で飾り気はありません。  
最新技術は  
<http://ara.jyan.biz/>

# JYAN研究会HP地震予知安全NetHP

The screenshot displays the JYAN研究会 website with several key sections:

- Top Navigation:** Includes links for 'トップページ' (Home), 'HAMIC', '研究会の方針' (Research Policy), '研究の概要' (Research Overview), and '公開・配信の情報' (Public/Dissemination Information).
- Main Content Area:**
  - 地震予知安全Net:** Promotes a safety network for earthquakes and electromagnetic waves, featuring a banner about disseminating information 3 days in advance.
  - 地震予測観測網:** Displays a graph of electromagnetic wave activity and a list of recent observations.
  - JYAN研 (Research Institute & jyan ken co.ltd):** Features a sidebar with links to '観測情報とトピックス' (Observation Information and Topics), '観測案内' (Observation Guide), '観測案内' (Observation Guide), '観測概要' (Observation Overview), and '総合センター' (General Center).
- Right Sidebar:** Contains a '配信サービス' (Dissemination Service) section with links to '地震情報' (Earthquake Information), '観測局情報' (Observation Station Information), and 'HAMIC送付窓口' (HAMIC Delivery Window).

- ①左はJYAN研究会  
(公開中です)
- ②地震予測観測網  
(現電磁波観測研へ)  
左下は
- ③地震予知安全Net

# 結 論

- 地震予知の理論とメカニズムを日本地震学会(京都大学)で発表しました。2019-9世界初の快挙です。
- 電磁的に観測すれば、完全に「**予知可能**」となります。！  
(熊本地震も、2回来るのが判ったのはJYAN研のみ！で、次の地震も時間単位で判りました。)
- 南海トラフ等の海洋地震も専用の観測網を置けば予知可能です。
- 全国に電磁地震計を600ヶ所以上の敷設が必要(地震計は3,900ヶ所所有り)
- 直下型とトラフの観測網&観測システムの建設資金が必要です。
- どなたか、協力や出資をして戴ける方を紹介して戴けませんか？  
(会社名 = Danger News JYAN研ですが、出資者に命名権を謹呈)